

地域の力を 強くしていく

前回のシリーズ②では地域の話し合いの場づくりについてお伝えしました。

今回は鳥羽市社会福祉協議会が開催している「まちトーク」について紹介します。

健康福祉課生活支援係



☎ 1181

まちトークとは？

まちトークは、鳥羽市社会福祉協議会が地域の話し合いの場づくりのために開催しています。

まちトークでは、次のことをみんなで話し合います。

- ① 地域の良い所
- ② 現在の地域の困りごと
- ③ 地域のみならずできること、こんなことしたら良いなと思うこと、自分でもできること

一人で考えるのではなく、多くのかたと世代を交えて考えることで、自分では思いつかないアイデアが出てきます。

これからの地域での支え合いには、いつもと同じメンバーで話をするのではなく、町民全員で交わって話し合うことが必要となってきます。

まちトークを開催した地域の感想

まちトークを開催した2町内会を紹介します。

この2町内会以外にもまちトークを開催した地域がたくさんあります。今後、まちトークを開催する地域を少しずつ増やす予定です。

自分たちの地域のまちトークに参加してみませんか

自分たちのまちのことを考えることは、自分自身も、そして自分の子どもや孫も住みやすいまちになることへとつながっていきます。

今、地域でみんなが一緒に話して話し合うことが必要です。これからの地域を考えること、みんなで集まり話し合うことが最初の一步です。ぜひ参加してください。

大明西町（6月18日開催）

池田町内会長が高齢者のいきいきサロンに声を掛け、まちトークを開催することになりました。



大明西町町内会長 池田 栄 さん

「大明西・まちトーク」を開催して

6月18日、「いきいきサロン」のメンバーを中心に、町内会会員23人で「大明西・まちトーク」を開催しました。

現在の町の様子から始まり、「20年後はどうなっていくのだろうか？」という流れで、グループに分かれての意見交換、その後、全体での振り返りを行いました。今まで、これからのまちづくりの課題について、個人的な話題に上ることはあっても、みんなが共通の話題として話し合うことはなく、有意義な第一歩であったと思います。

「町の良いところ、自慢できるところ」では、「人柄が良い」「住みやすく、静か」というソフト面だけでなく、「大型ショッピングセンターがある。病院や銀行、学校が近い」という意見が多く出されました。これからも住みよい町である前提として、町内会活動や近所付き合いだけでなく、現在あるのが当たり前であると思っていた生活の便利さや社会基盤の充実が、これからのまちづくりの大切な要素としても求められることを改めて実感しました。

折しも、来年は東京オリピック・パラリンピック。柄が良い」「住みやすく、静か」というソフト面だけでなく、「大型ショッピングセンターがある。病院や銀行、学校が近い」という意見が多く出されました。これからも住みよい町である前提として、町内会活動や近所付き合いだけでなく、現在あるのが当たり前であると思っていた生活の便利さや社会基盤の充実が、これからのまちづくりの大切な要素としても求められることを改めて実感しました。

競技大会が開催されます。高度経済成長の中、開催された前大会の頃には、言葉では言わずとも、日常生活の中に、「子育て」や「あいさつ」「近所付き合い」という地域コミュニティが存在していました。これから、わたしたちの町もどんどん少子・高齢化が進んでいくことが予想されますが、町名の由来である「大きく明けゆく町」を目指して、一人一人が意識して、できることをコツコツと積み重ね、「自分たちの町の良さ」を大切にしていきたいと思えます。



9月のまちトーク開催案内

次の3地区でまちトークを開催します。地域のみなさん、ぜひ参加してください！

国崎町内会

とき 9月6日(金)
午後7時～8時30分

ところ 国崎公民館

千賀町内会

とき 9月25日(水)
午後2時～3時30分

ところ 千賀公民館

ハイタウン鳥羽自治会

とき 9月29日(日)
午前10時～11時30分

ところ ハイタウン集会所

まちトークの開催についてくわしくは、鳥羽市社会福祉協議会(☎291188)へ問い合わせてください。

まちトーク担当者を紹介します

鳥羽市社会福祉協議会では、まちトークを通して地域のみなさんが自分たちのまちのことを話し合えるよう支援していきます。



鳥羽市社会福祉協議会
江崎 ユミ さん



鳥羽市社会福祉協議会
中村 亮羽 さん

まちトークで、みなさんの住むまちをどのようなまちにしていきたいか、たくさんのアイデアをお聞かせください！



人口減少、少子高齢化が急速に進み、個人や地域の困りごとが今後ますます増えるといわれています。それでも地域のみなさんが幸せに暮らし続けられるように、地域で支え合いの仕組みを作っていくお手伝いをさせていただきます。



答志町 (6月26日開催)



答志町内会長
西川 豊幸 さん

西川町内会長の声掛けにより、多くのかたに参加していただきました。

「答志町・まちトーク」を開催して
今までの時代は行政が企画をして、行政が住民のために何かをしていくといった位置関係でした。これからは住民が自分たちの生活はこうあるべきだと自分たちで目指していかなければならぬという時代がやってきています。それがまち

トークで話し合うことにながっていると考えます。
答志町では、リサイクルセンターを毎日開けるように変えました。最初はルールを守らない人もいましたが、毎日センターが開いていることを喜んでくれる人がほとんどでした。
ルールが守られなければ、元に戻すことを注意喚起し、みなさんがルールを守ってくれるようになりました。まずは自分たちでできることから取り組んでいくこと、方法を変えてもみんなが意識すればきちんとできることがたくさんあります。これからは、自分たちで何ができて、何に費用

が必要なのかを訴えかけられるように、自分たちでできることから始めていくことが重要だと考えます。
まちトークも2回、3回やってもいいと思います。その中でいろいろな話が出てきて、普段自分たちだけではなかなか出てこないような意見も、老若男女でみんながごちゃ混ぜになつて話ができるので良い機会だったと思います。
普通に生活をしていると、このように話し合う場はないので、まちトークのような話し合う場があるとお互いの考えていることを知る場になって良いことだと感じています。